

弱い時にこそ強い

聖書：コリントの信徒への手紙Ⅱ 12：9～10

讃美歌：120 1節

2023年 2月24日

私は柑橘類が大好きです。何十年もいろいろなミカンを取り寄せたり、他県の人に送ったりしていた農家のおじさんが高齢になり、やりきれないから、自分で世話をするならば木を譲って下さると言われ、仲間に声をかけお世話を始めました。殺虫剤や農薬は使いたくないので、頻繁に草刈りをし、幹に入り込んだカミキリムシを取り出したり、肥料を施し、摘果したりと、2、3週間に一度は山に行って仕事をします。暑い時期は、朝5時半スタートで作業。日当たりの良い傾斜地なので足場も決してよくはなく、楽ではありません。それでも、花が咲き、実が付いて、次第に色づいてくるのを楽しみに出かけます。自然の中での作業は気持ちがいいですし、仲間と一緒に山でいただくお弁当もおいしいです。けれどもそんな楽しいことばかりではありません。今年の台風15号の後、山が崩れて根がむき出しになり、杭を打ったり土留めをしたりと大変な土木作業が必要になりました。12月に入り、黄色に色づき大きくなった実の収穫を楽しみに出かけて行って、びっくり！ 紅温州のみかんが全部ない！ポンカンの木の下には、皮が散乱。おさるさんの仕業です。ハクビシンは汚く食べ散らかすのですが、サルは手が使えるのできれいに皮をむいて、中身を食べる。鳥は嘴でつついて食べるので、いい実だなあと切ろうとして、アッ、食べられていたと気づくといった具合です。

解剖学博士でもあり、昆虫学者でもある養老孟司さんが、自然相手のことには、根性・辛抱・努力が必要だと言っていたのを思い出しました。収穫の喜びや自然の中での仲間との作業の楽しさも大きいのですが、本当に根性・辛抱・努力なくしてできないなあと実感します。そし

て、はっとしました。根性・辛抱（忍耐）、努力。私自身も学校で生徒の皆さんに言ってきた言葉だなあと。勉強でも、クラブ活動でも、お稽古事でも、コツコツ努力を重ねていく。辛抱・忍耐もなければ続かないし、いろいろな誘惑に打ち勝つ意思の強さも必要です。そうして取り組んでいく中で、実りを見ることができます。けれども、自分の望むような実りを得ることができず悔しい思いをしたり、誘惑に負けてしまった自分の弱さに惨めな思いを味わったり、あの人にはできるのに私にはできない、私ってだめだなあと自分の弱さを人との比較によって意識させられます。世の中には自分よりもよくできる人、力のある人、心が広くて優しい人、気配りができて労を惜しまず働く人、自分にはなくていいなあ、自分もそうなれたらいいなあと思う人はいくらでもいます。万能な人はいないので、どんな人も弱さを感じてもっと強くなりたいと思っていることが何かしらあるものです。

1月末、最後の収穫ははるみやセットカという比較的新しい品種のみかんでした。とても楽しみに出かけて行ったのに、またしてもおさるさんに食べられてしまい、木に残っていたのは、小さかったり、酸味の強いものばかりでした。「収穫の2,3割は動物の取り分なんだよ」と言われ、ここでもまた、考えさせられました。地球温暖化を招いたのは人間の業ではあるけれど、私たちに自然をコントロールすることはできません。この世界に命を与えられているのは人間だけではありません。私たちは多様な人々、動植物と共存して生かされています。弱さや苦しみから抜け出したいという願いは切実ですし、努力も大切です。けれども根性や忍耐、努力だけで突破していくことはできません。話すのが下手で、つまらない、弱腰だと人々から言われていたパウロも自分の弱さに悩み、神様に弱さを取り除いてほしいと祈りました。そのパウロに、神様は「力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。これは、自分の弱さを自覚している時に、開きなおって、がむしゃらに全力を出し切ってがんばれば道が開

けるということではありません。自分を比較し、比較されがちな社会で、私はあれもできない、これもできない、自分はダメだなあと失望を覚える時、根性だ！忍耐だ！と強くなって自分の力だけで歩むのではなく、自分の力ではどうにもならない、私には欠けがあり、弱さがあることを認め、神様の前に謙虚になって、神様の力が発揮されるように委ねていく。一生懸命にやれるだけのことはやり、あとは神様の領域。その時得られたものは、自分の願い、求めているものとは違うかもしれませんが、自分に与えられている神様の恵みに気づき、喜びと感謝の思いで、新たな私の歩みを始めることができるようになるのだと思います。

年度末になり、1年を振り返りつつ過ごすことになる皆さん、受難節にも入りました。弱さや苦しみ悲しみがあっても、私たちが一人ひとりに与えられた人生を喜んで生きるために神様がイエス・キリストを与えてくださり、それほどまでに、私たちを愛し、尊いものとして下さっていることを覚えつつ歩いていってください。

お祈り：私たち一人ひとりの名前を呼び、あなたは高価で貴い、私はあなたを愛していると

言って下さる神様、今日も共に歩み、支え、導いてください。学院に連なるお一人お一人の歩みを祝してください。主のみ名によってお祈りします。

アーメン